



基礎処理工事開始！ 2次転流工から3次転流工に切替へ！ コンクリート打設 進捗率14%（11月末時点）



※河川を上流から下流に向かって眺めたとき、右側を右岸、左側を左岸と呼ぶ（川の流れる方向 →）

和食ダム本体建設工事では、引き続き堤体コンクリートの打設を中心に施工が進められています。11月末時点におけるコンクリート打設の進捗率はおよそ14%（全コンクリート体積64千m³に対して9千m³打設完了）となっています。

10月下旬からは、ダムの底部から貯水池の水が漏れるのを防ぐための基礎処理工事を開始しました。ダムの基礎岩盤に穴を掘り、セメントミルク（水とセメントを混合した液体）を注入して、地中の割れ目を充填していきます。また、11月上旬からは、転流工（工事の間、川の水を流す仮水路）を2次転流工から最終の3次転流工に切り替える作業に着手しました。

堤体内には、監査廊（かんさろう：完成後の漏水量の点検などに使用されるダム内の通路）も姿をみせています。監査廊はダムの堤体内に埋設されるため、建設中の今しか見るこのできない貴重なシーンです。

洞窟を調査しました！

右岸側の調査横孔閉塞作業開始！



ダムサイトの右岸側に長さは約60mの洞窟があるのをご存知ですか？この洞窟はダムの地質調査をするために掘った調査横孔（おうこう）といいます。

調査は既に完了しているため、コンクリート等で閉塞を行いますが、現状確認を兼ねて、調査隊が内部に潜入しました。

中にはコウモリがいたり、不気味な雰囲気をかもし出していました。

決定！

和食ダム付替道路にかかる橋の名前

やまびこ橋

和食ダム便り第9号で掲載した和食ダム付替道路にかかる橋の名前募集について、総数36通！というたくさんのご応募をいただきました。本当にありがとうございました！

厳正に審査した結果、「やまびこ橋」に決定しました。命名者は、芸西村内にお住まいの松本洋子さん！命名していただいたお礼として、少しばかりプレゼントを贈らせていただきました！



たくさんのご応募、ありがとうございました。



和食ダム周辺に遊歩道をつくろう

「よかッパロード」座談会を開催



座談会状況 (11/13)



現在、芸西村の新しい自然体験型観光の一つとして、和食ダム周辺に遊歩道を整備する「よかッパロード」の計画づくりが進められています。11月13日には、この計画づくりの一環として、歴史・食・自然など様々な分野で活動されている芸西村の村民や各種団体に参加していただき、計画についての意見交換を行う座談会が開催されました。

座談会では遊歩道のルートや熊ノ倉城跡の利用などについて意見が交わされました。地域のイベント活動や周辺施設との利用など、さまざまな視点から魅力あふれる計画づくりを行っていききたいと思います。

芸西村の史跡紹介【第1弾】

よかッパロードにある「熊ノ倉城跡」

芸西村には多くの史跡があります。和食ダム便りではこれら身近にある史跡について特集したいと思います。

《熊ノ倉城跡》

土佐東部を支配していた安芸国虎が郡境の守りとして、直轄の出城を作り、城番を置いていたお城です。また、土佐中央部を支配し、その後土佐統一を成し遂げた長宗我部元親との戦場になったところでもあります。

現在は木々で覆われているため、城跡を確認することはできませんが、芸西村から太平洋までを一望できる位置にあり、「よかッパロード」計画においても利活用が検討されています。

次回は「仁井田神社」です！



写真

熊ノ倉城跡

和食ダム



芸西村航空写真

熊ノ倉城跡

芸西小

芸西村役場

みのりの王国「芸西フェスタ」

昨年に引き続き、和食ダンプースを開設



現場見学ツアー

骨材に思いを描く

和食ダンプース

重機に試乗

11月21、22日、芸西村の憩ヶ丘公園において、みのりの王国「芸西フェスタ」が開催されました。和食ダム建設事務所では昨年に引き続き、和食ダンプースを開設。工事の現場見学ツアーも行われ、コンクリート打設が進められているダムサイトや工事で使用されている重機などを見学していただきました。